

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人文学部	日本文学文化学科	夜・通信	32	0	106	138	13	
	心理学科	夜・通信			53	85	13	
	こども発達学科	夜・通信			59	91	13	
国際学部	英語コミュニケーション学科	夜・通信		2	10	44	13	
	国際学科	夜・通信			8	42	13	
家政学部	服飾造形学科	夜・通信		2	49	83	13	
	健康栄養学科	夜・通信			91	125	13	
	家政福祉学科	夜・通信			101	135	13	
看護学部	看護学科	夜・通信		0	89	121	13	
(備考) 国際学部英語コミュニケーション学科・国際学科は2020年度設置								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.wayo.ac.jp/visitors_student/tabid/798/Default.aspx

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/公開用_役員_評議員名簿_2021\(0401\).pdf](https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/公開用_役員_評議員名簿_2021(0401).pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元 私立大学 学長	2020. 4. 1 ～ 2024. 3. 31	教学（教育）
非常勤	元 生命保険会社 社長	2019. 7. 17 ～ 2023. 7. 16	財務（資産運用）
非常勤	国立大学 名誉教授	2020. 4. 1 ～ 2024. 3. 31	教学（研究）
非常勤	元 放送局 局長	2020. 4. 1 ～ 2024. 3. 31	渉外（広報・募集）
非常勤	元 放送局 社長	2021. 4. 1 ～ 2025. 3. 31	—
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文学部、国際学部、家政学部、看護学部すべてにおいて以下の通りである。 ・授業計画(シラバス)の作成過程 <p>①12月中旬～1月初旬：Web入稿システムを利用して、執筆者(担当教員)が入稿する</p> <p>②1月中旬～1月下旬：第三者(学部長、学科長、研究科長等)が確認する</p> <p>③1月中旬～2月上旬：担当教員による修正期間(第三者からの指摘事項に対して担当教員が修正することも含め)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画の作成・公開時期 <p>授業計画の作成は、「シラバス作成のガイドライン」に従って、担当教員がWeb入稿システムを利用して行う。</p> <p>公開はWebシラバスにて例年3月16日前後に行い、大学保管用に印刷物を作成している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文学部、国際学部、家政学部、看護学部すべてにおいて以下の通りである。 ・全学生に入学時に配付する「履修ガイド」の履修要項の「2 試験、単位及び学位認定 2. 評価」に評価方法を記載し、全学的な基準を示している。 ・加えて、開講科目ごとに授業計画(シラバス)に【評価方法】を掲載して、ホームページで公開している。なお、授業計画(シラバス)執筆の際のマニュアルには、「どのような観点によって成績をつけ、単位を付与するのか、具体的に記載」することを教員に求めている。 ・また、授業計画(シラバス)には科目ごとに【学位授与方針】の項目があり、学科のディプロマ・ポリシーと科目との対応が掲載されている。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文学部、国際学部、家政学部、看護学部すべてにおいて以下の通りである。 ・成績評価、GPAの指標を設定し、全学生に配付の履修ガイド、ホームページに掲載している。 ・GPAは前期、後期の成績通知時に、成績評価に従って算出し、成績評価と共に学生に通知している。なお通知の方法はインターネット（学生ごとにログインする大学のポータルシステム使用）による。保護者宛にも年に2回郵送している。 ・<GPAの算出方法> <p>GPAは、学生が履修した科目の成績の平均を数値で表したもので、年度ごとのGPAと入学時からの通算の通算GPAの2つのGPAが算出される。本学におけるGPAの算出式は下記に示すとおりである。</p> $GPA = ((S \text{ の単位数} \times 4) + (A \text{ の単位数} \times 3) + (B \text{ の単位数} \times 2) + C \text{ の単位数} \times 1) / (\text{履修登録単位数} - \text{履修取り消し単位数})$ <p>※小数点以下第2位で切り捨て ※評価「認定」はGPA算出の対象外とする</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部・学科ごとにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページにて公表すると共に、全学生に配付する履修ガイドに掲載し、周知を図っている。 ・大学情報公表として、卒業要件をホームページにて公表している。 ・大学学則第5節第38条「第12条に定める修業年限に在学し、別表ウに定める所定の単位を取得した者につき、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学位を授与する。」に定める通り、卒業見込みの学生は、卒業要件の充足状況や学費の納入状況などを記載した判定資料を参考に、3月に行われる学部教授会（判定教授会）の議を経て卒業が認定される。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ディプロマ・ポリシー： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1093/Default.aspx 卒業要件： https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/Default.aspx

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/%EF%BD%90%EF%BD%84%EF%BD%86/taisyakutaisyou2020nendo.pdf
収支計算書又は損益計算書	① 資金収支計算書 https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/%EF%BD%90%EF%BD%84%EF%BD%86/sikinsyuusikeisansyo2020nendo.pdf ② 活動区分資金収支計算書 https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/%EF%BD%90%EF%BD%84%EF%BD%86/katudoukubunsikinsyuusikeisansyo2020nendo.pdf ③ 事業活動収支計算書 https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/%EF%BD%90%EF%BD%84%EF%BD%86/jigyouukatudousyuusi2020nendo.pdf
財産目録	https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/%EF%BD%90%EF%BD%84%EF%BD%86/zaisanmokuroku2020nendo.pdf
事業報告書	https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/2020administrationreport0531a.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/guide/%EF%BD%90%EF%BD%84%EF%BD%86/kansahoukoku2020nendo.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:学校法人和洋学園事業計画書)	対象年度:2021年度)
公表方法: https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/2021administrationplan.pdf	
中長期計画(名称:学校法人和洋学園中期計画)	対象年度:2021~2025年度)
公表方法: https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/mediumtermplan20212025(1).pdf	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：<https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/default.aspx>

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：<https://www.wayo.ac.jp/guide/accreditation/tabid/256/default.aspx>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人文学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/aim/tabid/205/Default.aspx ）
（概要）人文学部は、人文科学・社会科学の分野において、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授し、知的・道徳的及び応用能力を展開させ、もって文化の発展と福祉の増進に寄与する有能な女性を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1263/Default.aspx ）
（概要）人文学部は、日本文学文化学科、心理学科、こども発達学科から構成され、グローバル化や少子高齢化、人工知能などの技術革新等、変化が激しい社会に対応できる、広く深い教養と高度で実践的な専門知識や技能をもった自立した女性の育成を目的としています。その目的のもと、卒業に必要な単位を修得し、以下に示す要件を満たした者に学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1264/Default.aspx ）
（概要）人文学部は、日本文学文化学科、心理学科、こども発達学科から構成されており、学科を越えて行われる教養教育との相互補完性のある専門教育を実施します。各学科のカリキュラム編成は、大学4年間を通してそれぞれの学科で学ぶための導入科目と基礎科目の学習の後に、専門科目と少人数による演習科目やゼミを配置して、主体的な学びを体得することを目的とします。このような方針のもと、以下のような教育課程を設けています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/uni_adpolicy/tabid/777/Default.aspx ）
（概要）人文学部は、グローバル化や少子高齢化、人工知能などの技術革新の進展等、変化の激しい社会に対応できる、広く深い教養と高度で実践的な専門知識や技能を持った自立した女性の育成を目的としています。 そのため、多様な価値観を持つ人間同士ならびに社会間の対話を尊重しながら、人間社会の諸現象を体系的に理解し、新たな価値を創造することのできる学生を求めています。

学部等名 国際学部
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/aim/tabid/205/Default.aspx）</p> <p>（概要）国際学部は、異文化コミュニケーションに必要な語学力と、世界の多様な社会文化について認識を深めることで得られる柔軟性とで形成される、グローバルコミュニケーション力を身につけ、異文化交流を促進する事業やグローバルな企業などにおいて活躍する国際感覚豊かな女性を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1263/Default.aspx）</p> <p>（概要）国際学部では、異文化コミュニケーションに必要な語学力と、世界の多様な社会、文化について認識を深めることで得られる柔軟性とを持ち合わせることにより、真のグローバルコミュニケーション力を身につけ、国際観光をはじめとする異文化交流事業やグローバルビジネスにおいて活躍する人材を育成するという教育目的のもと、卒業に必要な単位を修得し、次の能力、知識を有する者に学位を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1264/Default.aspx）</p> <p>（概要）ディプロマ・ポリシーに掲げる教育目標を達成するためには、自ら視野を広げ、自ら知識を体系化すると共に実践知を獲得し、自ら語学力を高めていく力をつけさせるような教育方法が必要となります。このような教育方針のもと、本学部では次のような内容からなるカリキュラム体系を用意しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/uni_adpolicy/tabid/777/Default.aspx）</p> <p>（概要）国際学部は、異文化コミュニケーションに必要な語学力と、世界の多様な社会・文化について認識を深めることで得られる柔軟な思考力とからなるグローバルコミュニケーション力を身につけ、異文化交流を促進する事業やグローバルな企業などにおいて活躍する国際感覚豊かな女性の育成を教育理念に掲げています。 そのため、本学部の各学科の掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲等を備えた学生を求めています。</p>

学部等名 家政学部
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/aim/tabid/205/Default.aspx）</p> <p>（概要）家政学部は、家政学の分野において、広く知識を受けるとともに、深く専門の学術技芸を教授し、知的・道徳的及び応用能力を展開させ、もって文化の発展と福祉の増進に寄与する有能な女性を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1263/Default.aspx）</p> <p>（概要）家政学部は、高齢社会、男女共同参画社会、そして持続可能社会の中にあつて、生活に対する問題意識と感性を磨き、人々の生活の質（QOL:quality of life）を向上させ、人々がより幸せに生きられるライフスタイルの実現のために科学的、実践的に行動できる女性の育成を目的にしています。以下に示す能力や知識・技能を身につけ、卒業に必要な単位を修得した者に「学士（家政学）」の学位を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1264/Default.aspx）</p> <p>（概要）家政学部は服飾造形学科、健康栄養学科、家政福祉学科から構成されており、各学科のカリキュラム編成は、講義科目に加え多くの実験・実習・演習科目を配置して、高度な専門知識と技術を持った専門家になるためのカリキュラムとなっています。さらに、3学科共通で学ぶ家政学共通科目を置き、家政学を基盤とした、生活の総合的・科学的・実践的な課題解決能力の育成をめざします。このような方針のもと、以下のような教育課程を設けています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/uni_adpolicy/tabid/777/Default.aspx）</p> <p>（概要）家政学部は、高齢社会、男女共同参画社会、そして持続可能社会の中にあつて、生活に対する問題意識と感性を磨き、人々の生活の質（QOL:quality of life）を向上させ、人々がより幸せに生きられるライフスタイルの実現のために科学的、実践的に行動できる女性としての能力を身に付けます。 そのため、家政学部での学びに対して、自らの生活を自省し、より望ましい生活の実践にむけて行動できること、さらに、人々がより幸せな生活が実現できるように、表現者・指導者・支援者等として社会で活躍できるような学生を求めています。</p>

学部等名 看護学部
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/aim/tabid/205/Default.aspx）</p> <p>（概要）看護学部は、看護学の分野において、広く知識を受けるとともに、深く専門の学術技術を教授し、知的・道徳的及び応用能力を展開させ、もって保健・医療や福祉環境及び地域医療の発展と福祉に寄与する有能な看護師を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1263/Default.aspx）</p> <p>（概要）多様化する人々の健康生活のニーズに対応できる看護実践者を育成します。ヒューマンケアリングの考え方をベースに看護の専門知識と高度のコミュニケーション能力を養い、高い職業倫理観をもって地域に貢献する人材を育成します。卒業に必要な単位を修得し、以下の6つの力を身につけた者に「学士（看護学）」の学位を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/tabid/1264/Default.aspx）</p> <p>（概要）看護学科では、ディプロマ・ポリシーに従い、高度な能力もつ看護職を育成するために次のカリキュラムを履修することで卒業時まで専門知識の修得を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「専門基礎科目」と「専門科目」で構成される、看護実践に必要な知識・技術を学ぶための「専門教育科目」を配置。 ●「専門基礎科目」に、看護学の基礎となるホスピタリティ、健康と健康 障害、社会保障、関係法規などを配置。 ●「専門科目」に、看護学のベースになる「基礎看護学」、人間の発達・健康段階の看護について学ぶ「発達分野看護学」、地域社会・在宅をはじめ多様な場での看護を学ぶ「広域看護学」、および看護の発展的展開と研究的態度を学ぶ「統合分野看護学」を配置。 ●教科目の年次進行は、基礎から専門へ、人間の成長・発達段階、環境と健康、疾病予防から終末期に至る看護を段階的に学ぶように配置。このため「実習科目」は各前提科目の修得が必要。 <p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/guide/principle/uni_adpolicy/tabid/777/Default.aspx）</p> <p>（概要）看護学部では、多様化する人々の健康生活のニーズに対応できる看護実践者を育成します。ヒューマンケアリングの考え方をベースに看護の専門知識と高度のコミュニケーション能力を養い、高い職業倫理観を持って地域に貢献する人材を育成します。そのため、次のような学生を求めています。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/default.aspx>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
人文学部	—	19人	10人	0人	10人	4人	43人
国際学部	—	7人	3人	1人	6人	0人	17人
家政学部	—	18人	15人	0人	9人	26人	68人
看護学部	—	10人	10人	5人	7人	6人	38人
その他	—	4人	1人	3人	0人	0人	8人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			183人				183人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.wayo.ac.jp/academics/departments/teacher/tabid/391/default.aspx					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
年間を通して、大学全体・学部・学科のFDを実施している。 https://www.wayo.ac.jp/Portals/0/about_wayo/syomu_gakuji/2020FD_list.pdf							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文学部	240人	241人	100%	1210人	1309人	108.2%	人	人
国際学部	120人	110人	92%	240人	241人	100.4%	人	人
家政学部	290人	239人	82%	1150人	1114人	96.9%	人	人
看護学部	100人	91人	91%	400人	405人	101.3%	人	人
合計	750人	681人	91%	3000人	3069人	102.3%	人	人
(備考) 人文学部の収容定員には国際学科が含まれる。人文学部国際学科は、令和2年3月31日をもって募集停止し、在学生の卒業をもって廃止する。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文学群	327人 (100%)	3人 (0.9%)	292人 (89.3%)	32人 (9.8%)
家政学群	266人 (100%)	0人 (0%)	241人 (90.6%)	25人 (9.4%)
合計	593人 (100%)	3人 (0.5%)	533人 (89.9%)	57人 (9.6%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
人文学群	374人 (100%)	318人 (85.0%)	24人 (6.4%)	32人 (8.6%)	0人 (0%)
家政学群	270人 (100%)	252人 (93.3%)	7人 (2.6%)	11人 (4.1%)	0人 (0%)
合計	644人 (100%)	570人 (88.5%)	31人 (4.8%)	43人 (6.7%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文学部、国際学部、家政学部、看護学部すべてにおいて以下の通りである。 ・授業計画(シラバス)の作成過程 <p>①12月中旬～1月初旬：Web入稿システムを利用して、執筆者(担当教員)が入稿する</p> <p>②1月中旬～1月下旬：第三者(学部長、学科長、研究科長等)が確認する</p> <p>③1月中旬～2月上旬：担当教員による修正期間(第三者からの指摘事項に対して担当教員が修正することも含め)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画の作成・公開時期 <p>授業計画の作成は、「シラバス作成のガイドライン」に従って、担当教員がWeb入稿システムを利用して行う。</p> <p>公開はWebシラバスにて例年3月16日前後に行い、大学保管用に印刷物を作成している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<ul style="list-style-type: none"> ・人文学部、国際学部、家政学部、看護学部すべてにおいて以下の通りである。 ・全学生に入学時に配付する「履修ガイド」の履修要項の「2 試験、単位及び学位認定 2. 評価」に評価方法を記載し、全学的な基準を示している。 ・加えて、開講科目ごとに授業計画（シラバス）に【評価方法】を掲載して、ホームページで公開している。なお、授業計画（シラバス）執筆の際のマニュアルには、「どのような観点によって成績をつけ、単位を付与するのか、具体的に記載」することを教員に求めている。 ・また、授業計画（シラバス）には科目ごとに【学位授与方針】の項目があり、学科のディプロマ・ポリシーと科目との対応が掲載されている。 ・卒業の認定に当たっては、学部・学科ごとにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページにて公表すると共に、全学生に配付する履修ガイドに掲載し、周知を図っている。 ・大学情報公表として、卒業要件をホームページにて公表している。 ・大学学則第5節第38条 「第12条に定める修業年限に在学し、別表ウに定める所定の単位を取得した者につき、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学位を授与する。」に定める通り、卒業見込みの学生は、卒業要件の充足状況や学費の納入状況などを記載した判定資料を参考に、3月に行われる学部教授会（判定教授会）の議を経て卒業が認定される。 				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文学部	日本文学文化学科	124 単位	有	46 単位
	心理学科	124 単位	有	46 単位
	こども発達学科	124 単位	有	46 単位
国際学部	英語コミュニケーション学科	124 単位	有	46 単位
	国際学科	124 単位	有	46 単位
家政学部	服飾造形学科	124 単位	有	46 単位
	健康栄養学科	124 単位	有	(1・2年) 48 単位 (3・4年) 44 単位
	家政福祉学科	124 単位	有	46 単位
看護学部	看護学科	128 単位	有	48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 : https://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 : https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/Default.aspx		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : https://www.wayo.ac.jp/facilities_campus/tabid/66/Default.aspx

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人文 学部	国際学科 3-4 年	660,000 円	0 円	320,000 円	その他は施設費、実験実習料
	日本文学文化学科 1 年	660,000 円	250,000 円	327,300 円	その他は施設費、実験実習料
	日本文学文化学科 2-4 年	660,000 円	0 円	320,000 円	その他は施設費、実験実習料
	心理学科 1 年	660,000 円	250,000 円	327,300 円	その他は施設費、実験実習料
	心理学科 2-4 年	660,000 円	0 円	330,000 円	その他は施設費、実験実習料
	こども発達学科 1 年	750,000 円	250,000 円	337,300 円	その他は施設費、実験実習料
	こども発達学科 2 年	750,000 円	0 円	422,000 円	その他は施設費、実験実習料
	こども発達学科 3 年	750,000 円	0 円	372,000 円	その他は施設費、実験実習料
	こども発達学科 4 年	750,000 円	0 円	332,000 円	その他は施設費、実験実習料
国際 学部	英語コミュニケーション学科 1 年	660,000 円	250,000 円	327,300 円	その他は施設費、実験実習料
	英語コミュニケーション学科 2 年	660,000 円	0 円	320,000 円	その他は施設費、実験実習料
	国際学科 1 年	660,000 円	250,000 円	327,300 円	その他は施設費、実験実習料
	国際学科 2 年	660,000 円	0 円	320,000 円	その他は施設費、実験実習料
家政 学部	服飾造形学科 1 年	700,000 円	250,000 円	367,300 円	その他は施設費、実験実習料
	服飾造形学科 2-4 年	700,000 円	0 円	340,000 円	その他は施設費、実験実習料
	健康栄養学科 1 年	780,000 円	250,000 円	427,300 円	その他は施設費、実験実習料
	健康栄養学科 2-4 年	780,000 円	0 円	420,000 円	その他は施設費、実験実習料
	家政福祉学科 1 年	700,000 円	250,000 円	327,300 円	その他は施設費、実験実習料
	家政福祉学科 2-4 年	700,000 円	0 円	320,000 円	その他は施設費、実験実習料
看護 学部	看護学科 1 年	1,050,000 円	250,000 円	557,300 円	その他は施設費、実験実習料
	看護学科 2-4 年	1,050,000 円	0 円	550,000 円	その他は施設費、実験実習料

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ユニバーサルサポート推進室(教職員・精神保健福祉士)による障害のある学生等個別の支援を必要とする学生の大学生活や修学に関するサポートと指導、及び合理的配慮方針の決定と実施を行っている。学生課による各種奨学金(学内奨学金、授業料減免制度、特待生制度を含む)の取り扱いを通して学生が修学を継続できるよう経済的な支援を実施。また二つの学生寮を完備している。学生の基礎学力の向上と実践的な教養の習得をサポートする学習室(ラーニングステーション)を開設。年間を通して、少人数制の学習講座「わよらカフェ」を開催する他、基礎学力を身に付けるための学習教材の配付や貸出を行い、自主的に学ぶ学生たちの拠点となっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 共通総合科目で「キャリアデザイン」を開講、一個人、一女性として自分らしい生き方を考えるために必要な「知識」「考え方」を論理的、実践的に学習する。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健センターによる健康診断有所見者の事後措置及び保健指導、学外実習参加者の検査対応、保健だよりの発行等の啓蒙活動、疾患や障害のある学生の健康管理、肥満学生への継続支援、学校行事や各種イベント時の救護などを実施。学生相談室(臨床心理士2名)によるメンタル面を中心とした面談を週に4日間実施。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：年報や活動報告書を作成し配付。

<https://www.wayo.ac.jp/guide/disclosure/tabid/216/Default.aspx>

<https://www.wayo.ac.jp/career/tabid/64/Default.aspx>

https://www.wayo.ac.jp/campus_life/support/life/tabid/531/Default.aspx

https://www.wayo.ac.jp/campus_life/support/health/tabid/533/Default.aspx

https://www.wayo.ac.jp/campus_life/support/tabid/851/Default.aspx

https://www.wayo.ac.jp/campus_life/scholarship/tabid/537/Default.aspx

https://www.wayo.ac.jp/campus_life/support/learning/tabid/530/Default.aspx

https://www.wayo.ac.jp/academics/edu_system/support/tabid/970/Default.aspx